

平成25年度 第1回習志野市障がい者自立支援協議会会議録

日時 平成25年4月23日(火)
午後2時から4時
場所 仮庁舎3階 大会議室

出席者 委員27名 事務局5名
(委員)

八田委員・内山委員・松井委員・武石委員・松尾委員・館澤委員
石井委員・丸山委員・福田委員・窪田(正)委員・山田委員・八尋委員
渡辺委員・加藤委員・奥山委員・今井委員・武井委員・窪田(規)委員
石毛委員・長尾委員・和田委員・目羅委員・内村委員・森田委員
平委員・畠山委員

(事務局)

斉藤課長・家弓主幹・屋代係長・市角主査・鈴木主事

欠席者 4名

豊嶋委員・緒方委員・喜田委員・山本委員

○委嘱状の交付

開会に先立ち、新たに委員となる6名の委嘱状の交付が行われた。

- ・社会福祉法人 清和園 ゆいまーる習志野 館澤眞木子委員
- ・あじさい療育支援センター 目羅きよみ委員
- ・東習志野小学校 和田のり子委員
- ・千葉県立船橋特別支援学校 八尋信一委員
- ・(株)PowerBean 放課後等デイサービスまめの木 森田美恵子委員
- ・社会福祉法人 習愛会 花の実園 畠山潤委員

○市長挨拶

この度、30名の習志野市障がい者自立支援協議会となった。引き受けてくれたことにお礼申し上げる。また日頃より多くのご支援、ご協力を賜り感謝する。この4月より障害者総合支援法が施行された。障がい者を取りまく環境は日々変化している。今後も皆様と一緒に障がい者の各計画を推進していきたい。市では平成24年度より、地域福祉計画策定に向けて準備している。皆様の更なるご協力をお願いしたい。この協議会で話し合われたことが本市の障がい福祉の礎になるであろうことをご認識いただき各専門分野からのご指導、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

○新委員からの自己紹介

新役員6名より、自己紹介があった。

○保健福祉部、障がい福祉課担当職員の紹介

保健福祉部部長、次長、障がい福祉課課長、主幹、担当職員 の紹介があった。

○開会の言葉 資料確認

八田会長より開会の言葉があり、事務局より出欠状況の報告及び傍聴人が0名である旨報告があった。続いて事務局が資料の確認を行った。

○議題1. 平成25年度習志野市障がい者自立支援協議会の運営について

以下(1)から(4)について資料に沿って事務局から説明があった。

(1) 習志野市障がい者自立支援協議会の体制(案)について(資料1)

八田会長から運営会議について補足説明があった。

資源開発についての検討は、各部会や支援会議から提案いただき、運営会議で行う。運営会議の構成員に各専門部会の副部会長を加え、強化を図りたいと考えている。また、ワーキングチームのリーダーや支援会議のリーダーも必要に合わせて運営会議に参加をお願いしたい。

◇主な質疑応答・意見

- ・質問：運営会議について、委員、議題共に増えていく中で、会議時間の変更はあるか
回答：従来通り2時間程度で行う予定である。
- ・各支援会議のリーダーは、運営会議に必須参加にしてほしい。

(2) これまでの活動経過(資料2)

(3) 平成23年度～25年度の協議内容と到達目標(案)(資料3)

(4) 平成25年度活動日程計画(案)(資料4)

(2)から(4)について、質疑、意見は特になし。

○議題2. 専門部会からの報告

(1) 相談支援児童部会からの報告

相談支援児童部会会長松井委員より報告があった。

活動計画案の「ワーキングチーム」との記載は、「作業班」と変更する。4月、5月に分けて行う予定だった「中学生期、高校生期の検討」については、5月に行う。検討の後課題の抽出を行い、10月に施策を提言、11月以降、施策についての具現化したものを提出する予定である。他の部会の委員の参加も歓迎する。

(2) 就労部会からの報告

就労部会会長松尾委員より報告があった。

- ・各委員の日常の取組の情報交換を行い、委員同士等のネットワークを構築していく。
- ・習志野市の地域に関する意見交換を行う。(地域資源の採用を目的として)
- ・部会として広報紙を発行し、広報活動を行う。(商工会議所と連携し、商工ならしの発行に合わせて発行する。創刊号は8月、2号は12月を予定している)

今後は企業就労に限らず広い範囲で障がい者雇用について考えていく。各委員の見識を広める活動も行いながら、最終的に市に提言を行う予定である。

(3) 相談支援成人部会からの報告

相談支援成人部会会長福田委員より報告があった。

- ・これまでどんな相談支援体制が必要か考えてきた。今年度はまとめを行う。
- ・相談支援従事者の質の向上や苦勞している点を共有するため、相談支援事業所の連絡会を立ち上げたいと考えている。
- ・1月あたりからまとめに入る。虐待防止センター、基幹型相談支援センターについても協議してく予定。

・連絡会はあくまで成人部会の中の位置づけである。

松尾副会長から補足説明があった。

各相談支援事業所は計画相談の部分も含め苦勞していることと、平成27年度の計画相談の数値目標を達成するのが難しい状況にあることをふまえ、自立支援協議会としても事業所を増やすことを考えていかなければならない。成人部会としては連絡協議会作ることを考えているが、全体会の承認をいただきたい。

福田委員から計画相談について説明があった。

平成24年度から計画相談が始まった。習志野市内に市の指定を受けている計画相談を行う相談支援事業所は4か所あり、実際にコーディネートを行う相談支援専門員は8名程度いる。その現状のなかで平成27年度までにコーディネートする人数は800名を目標としているが現状ではなかなか難しい。24年度のアンケート結果によると新規に相談支援事業所の立ち上げを考えているのは1か所程度。実際にはまだ足りないと思われる。

事務局より補足説明があった。

児童に対してはあじさい療育センターがあじさいに通っている児童を対象に計画相談を始める予定である。

司会<松尾副会長>：これらの現状を踏まえた上で、連絡会をつくること、連絡会は相談支援成人部会の中の位置づけとすることによりよろしいか。

意見、質疑なし。◆◆承認◆◆

○議題3. 運営会議からの報告

松尾副会長より報告があった。

◇支援会議について

平成24年度は準備の年として、支援困難事例シートを作成した。また、実際に支援会議を2回行い、進め方についての検討を行った。平成25年度に本格的にスタートしたいと考えている。

(資料5、支援会議開催のフローチャートに基づいて支援会議の運営方法と流れについての説明がある。) 内容について承認いただけるか。

意見、質疑なし。◆◆承認◆◆

○議題4. 協議

(1) 障がい者啓発講座のテーマについて

障がい福祉課家弓主幹より当日資料に基づいて説明があった。

運営会議でテーマを3つに絞った。

テーマ①、発達障害については、24年度のアンケート結果を踏まえて成人部会から提案された。

テーマ②、障がいについての理解 は、一般市民の方に障がい者を理解してもらうことが目的で、児童部会から提案された。

テーマ③、児童期の支援 は、将来就労つなげていくためには、障がいの早期発見、早期療育が大切であることから就労部会より提案された。

今年度の啓発講座のテーマと、ワーキングチームのリーダーを決めていただきたい。

◇主な意見

- ・一般市民向け講座ならば、障がい者理解を深める講座が一番優先ではないか。
- ・どのテーマにしても集客を見込む仕掛けが必要と思われる。
- ・ネームバリューを持った方に講師をお願いするのはどうか。
- ・啓発講座の予算は5万円前後。費用面の制約がある。
- ・去年は千葉県の地域移行の研修と一緒に行ったので、市は講師謝礼、用紙代を負担した程度だった。今年も何かの研修があれば一緒に行うのはどうか。ただ、今年は県からそういった話はない。
- ・福祉まつりなど人が集まるイベントと同時に行うのはどうか。
- ・主催は、自立支援協議会。もしくは、市と自立支援協議会の共催となると思われる。

司会<松尾副会長>：全体会としての意思決定を行いたい。啓発講座のテーマは「障がいについての理解を深める」でここに発達障がいも含める。対象は一般市民向けでよろしいか。

意見、質疑なし。◆◆承認◆◆

司会<松尾副会長>：次にワーキングチームのリーダーを決定したい。ワーキングチームは①障がい者啓発講座 ②資源マップ ③福祉ふれあいまつり の3つある。リーダーは、チームの進捗を管理していただき、運営会議へご参加いただくことになる。

◇主な意見

- ・リーダーは現役員以外の方になっていただくと、そこで新たな意見が出てよいのではないか。
- ・各部会から、現在の役員以外でワーキングチームに入る人を1名ずつ選出して動き出し、活動していく中で、リーダーを決めていくのはどうか。日程的には、5月の部会で選出し、5月中に一度集まる必要があるだろう。
- ・福祉マップについては、これまで自分（松尾委員）がやってきたのでバックアップを行うつもりでいる。

◇検討結果

5月の各部会の中で、ワーキングチームに入る方を選出する。（できれば現役員以外）。ワーキングチームが実際に活動を始めるなかで構成員やリーダーを決めていく。

司会<八田会長>：本日確認と協議した内容で資料1 協議会の体制図、資料3の協議内容と到達目標、資料4の活動計画、資料5の運営方法について、承認でよろしいか。

意見、質疑なし。◆◆承認◆◆

司会<八田会長>：承認されたので、すべての（案）の字を消していただきたい。

25年度は多くの委員が委嘱3年目となる。25年度末には協議会としての提言ができるよう、部会長・副部会長、各リーダーを中心に活動していただきたい。

○議題5. その他

委員からの連絡、報告等

石井委員：「ちば・ケアフェスタ2013」が5月12日に行われる。（詳細はチラシ参照）介護をする人を元気にすることを目的としたイベントである。

事務局：

①議会の設置運営について

以前配布した通知の改正があった。変更点は①法律名の変更 ②自立支援協議会が市町村協議会に名称変更となる ③市町村協議会の担う役割が具体的に明記された ④24年10月から障がい者虐待防止センターが障がい福祉課に設置されている

②平成24年度習志野市障がい者自立支援協議会研修会の報告

3月25日に開催された。船橋市の商工振興課職員から障がい者の職場実習の取り組みについての講話をいただいた。この時の質問への回答は配布資料のとおりである。

③平成24年度版資源マップが完成したのでご活用いただきたい。

④福祉ふれあいまつりへの実行委員会の参加について

当協議会からは八田会長にご参加いただいている。第1回会議が開催された。(八田会長より、内容についてはこれから決まっていくとの報告があった)

○次回について

第2回自立支援協議会 全体会

日時：8月27日（火）午後2時から4時

場所：仮庁舎3階大会議室

内容：各部会の報告 広報活動状況 施策の提言に向けた施策案の検討等

○開会の言葉

八田会長より閉会の言葉があり、閉会となった。